

## 企業再編はますます加速 新卒採用への対応は二極化

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

### 【システム業界全般について】

システム関連会社の再編は先月から引き続き多数発生しています。管理部門の効率化を図るために、親企業が子会社を買収したり、子会社の財務状況が厳しく親会社に吸収合併されたケースなどを耳にしました。システム関連会社の企業再編の動きはもうしばらく続くのではないかと考えています。

また来々春（2011年）新卒の採用活動がそろそろ始まる頃ですが、システム関連企業においては採用を抑えたと考えている企業と例年と同様の採用を行うことを決めている企業の二つに分かれるようです。採用を抑えるという企業は昨今の経済状況の受けての判断だと思われませんが、例年と同じレベルでの採用数を決定している企業は、自社の業績が比較的安定、もしくはある程度内部留保に余裕があるため、他の企業が新卒採用に消極的になっている今こそ良い人材を採用する好機と捉えて採用活動を実施するようです。

### 【システム投資について】

積極的なIT投資は、一部の業種では続いています。インターネット関連企業のように不況の影響を受けずに好調な業績を上げている業種や、不況の影響を受けている不動産業界の中でも比較的業績が安定している賃貸関連業などが積極的なIT投資が行っているようです。IT投資対象は、ビジネス拡張のためのシステム構築や基幹系業務システム導入など多岐にわたります。

他の業種においてもシステム投資を検討している企業は多いですが、全体的に予算金額は絞られる傾向にあります。ある企業においては、自社の基幹系業務システムを導入するにあたって、ベンダーからの提示金額と自社の予算額に大幅な乖離があったため、自社の業務要件や景況感動向を見極めるために、投資判断を数ヶ月先延ばしにすることを決定したとの話をお聞きしました。

### 【エンジニアについて】

システム開発の案件数は増加傾向にありますが、エンジニアの単価は引き続き下落傾向にあります。エンジニア単価の提示価格は平均すると1割ほど下がっており、案件によってはさらに1割程度の値引きを求められるケースもあると聞きます。これは案件の数が増えても引き続きエンジニアの供給過多は続いていることが影響しているためと考えられます。その影響は特にプログラマー（PG）レベルのエンジニアが受けているように感じます。プログラマー（PG）の案件自体はあっても、採用されるのはプログラムもできるシステムエンジニア（SE）であるという厳しい状況が続いています。

#### 株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

#### 【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：[info@bbbreak.co.jp](mailto:info@bbbreak.co.jp)